

地域おこし協力隊通信 (No. 5) ヒマラヤとロケット打ち上げ



私はヒマラヤで遭難したことがあります。そこはエベレストのベースキャンプ近くで標高5300m。空気が薄いので、頭がボーっとなり、正常な判断ができなくなっていました。相棒と私の判断ミスが重なり、やむを得ずビバーク（緊急野営）する事になりました。氷河の上で、風の影響を受けにくく、雪崩に巻き込まれにくそうな場所を確保します。夜は更け深い闇へ、夜は吹き下ろしの風が吹き続け、気温は氷点下20度近くまで下がります。相棒はレコーダーに「遺言」を吹き込んでいます。登り始めて10日以上、蓄積された疲労と「俺がしつかりせなアカン！」の緊

張がせめぎ合います。生きるために、眼を閉じてひたすら夜が明けるのを待ちます。

「ゴゴゴー」「ドドドッー！」その闇の向こう側で、ヒマラヤの峰々に積もった雪や氷が斜面を崩れ落ち、何度も、何度も雪崩が発生します。遠くのモノ、近くのモノ、雷と違いやり過ぎすモノではなく、いつ巻き込まれるかの恐怖が常に付きまとうので、遠くのモノでも近くに感じてしまいます。

ロケットの「音」と「振動」は、その闇で聞いた「雪崩」を彷彿させるものでした。日中なのに目を射る「光」遅れて駆け昇ってくる「音」地響きのような「振動」はどんなターマーパークでも再現できないド迫力です。

世界中を旅し色々なモノを見てきた私にとっても、ロケットが自然を超越して駆け上がっていく姿には、とても感動させられました。

2017年はロケットの打ち上げが、例年と比べて格段に多いようです。種子島に移住し、これからもロケットの立ち見を見届けられる事に喜びを感じています。

平和を守る

自衛隊入隊者壮行会

自衛隊に入隊する揃将太郎さん（横町）、福太志さん（西山）、藤崎晃介さん（伏之前）、竹内沙也夏さん（伏之前）、岩屋海斗さん（伏之前）の壮行会が、3月2日に開かれ、新たな門出を祝いました。壮行会には、自衛隊父兄会や自衛隊関係者が出席し、新たな一歩を踏み出す5人を激励しました。

5人は「我が国の平和と独立を守る」と力強く決意を述べました。



中種子町の発展に貢献

松下道男さんが叙勲（旭日雙光章）を授与



中種子町長を3期12年間務めた松下道男さんに、高齢者叙勲旭日雙光章が12月1日に授与されました。

松下さんは昭和54年4月に中種子町長に初当選。以来、3期12年にわたって産業の振興や住民福祉の向上、教育の振興に尽力し、中種子町の発展に多大な貢献をしました。

松下さんは「叙勲受章は中種子町民のおかげであり、心から感謝したい」と話しました。